

# つながりのある地域づくりを目指して ～地域共生社会の時代に私たちができること～

## ■ 趣 旨

我が国の社会福祉政策は、従来の縦割りから包括的な視点への転換を進めるとともに、ソーシャルインクルージョンを目指す時代を迎え、その目指す姿として「地域共生社会」が打ち出されている。

しかし、福祉サービスは高齢、児童、障害など分野別に提供され、現場では十分な連携が取れているとは言えず、関係者の模索が続いている。また、福祉的なニーズのある人の中には制度施策につながらず、制度の狭間で孤立する状況が続いている。

本会では、地域社会の最前線で関係者が抱える課題を共有し、我が事として課題をとらえ、丸ごと解決していく地域共生社会の推進に向け、参加者それぞれの立場で受け止め、地域づくりにつなげていくことを目的に本シンポジウムを開催する。

■ 日 時 平成 30 年 1 月 22 日（月）午後 1 時 30 分～ 4 時まで（1 時開場）

■ 会 場 神奈川県社会福祉会館 4 階 第 3 研修室（裏面参照）

## ■ プログラム 1 基調説明

平成 29 年度政策提言から見えてきたこと

**臼井 正樹 氏**（神奈川県立保健福祉大学教授、本会政策提言委員会副委員長）

## 2 パネルディスカッション

＜コーディネーター＞ 臼井 正樹 氏

＜ 発 題 者 ＞ 森 菊世 氏（母子生活支援施設グリーンヒル能見台施設長）

三浦 知人 氏（社会福祉法人青丘社事務局長）

木下 操 氏（茅ヶ崎市鶴嶺東地区民生委員児童委員協議会会長）

### 森 菊世 氏

児童福祉法に定められる唯一の母子で入所できる施設として、18 歳までの子どもを養育している母子家庭を対象に、学童保育・学習支援・周産期支援などのサービス提供や、家事・育児・就労等の相談支援を行っている。2 年の入所期間で自立を目指す中で、母子生活支援施設の現状、自立が困難な人たちの支援の難しさ、アフターケアの課題等を踏まえた、多リスク世帯の支援から見える課題をお話いただく。

### 三浦 知人 氏

川崎市川崎区桜本で民族差別に向き合い、現在も地域のニーズに対応するためのさまざまな事業を展開。子ども、高齢者、障害者、外国籍の人々など、多様な人々の社会参加を支援しながら、行政も動かし、多文化共生の地域づくり、桜本型の地域包括ケアシステムづくりに取り組んでいる。多文化共生社会の中で見える課題や、支援を必要としている人が声をあげにくい社会の中で、当事者をどのように巻き込んでいくべきかをお話いただく。

### 木下 操 氏

地域の子どもは地域で育てるという思いから、平成 22 年度より未就園児を対象に西久保保育園の多目的室を借りて「子育てひろば・スイートピー」を実施している。さまざまな関係者と協働して進めてきた取り組みと、その取り組みを通して感じている課題、また、制度施策や資源はあってもそれを活用して取り組もうとする人がいなければ地域の課題は解決しないという、担い手の課題意識等についてもお話いただく。

■ 定 員 100 名（先着順、参加費無料）

■ 申 込 裏面の参加申込書により、平成 30 年 1 月 12 日（金）午後 5 時までに FAX または MAIL で下記までお申込みください。

■ 申込・問合先 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 総務企画部 企画調整・情報提供担当  
TEL 045-311-1423 FAX 045-312-6302 MAIL kikaku@knsyk.jp

課題共有シンポジウム（平成30年1月22日（月）） 参加申込書

（福）神奈川県社会福祉協議会 企画調整・情報提供担当宛

FAX 045-312-6302 E-mail kikaku@knsyk.jp

送信日：平成 年 月 日（ ）

所 属： \_\_\_\_\_

担当者氏名： \_\_\_\_\_

連絡先：（電話） \_\_\_\_\_

（メール） \_\_\_\_\_

所属・役職	(ふりがな) 氏 名

◆備考◆ 地域福祉推進に向けた課題（具体的な生活課題、活動上の課題、連携・協働体制の構築の課題など）についてお気づきの点があればご記入ください。



<会場アクセス>

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2  
(横浜駅西口から徒歩約15分)

※参加決定通知はお送りしません。この参加申込書をFAXまたはE-mailで送信いただき、当日、直接会場にお越しください。(定員超過等でご参加いただけない場合のみ事務局よりご連絡いたします)